

議会だより

平成27年 8 月

No.85

あさぶ

題字は、鶉保育所 らいおん組の ^{ふなせ} 船瀬 ^{みなと} 湊斗さんです。



7月25日(土) 大勢の人でにぎわった「ふるさと夏まつり」
写真は特産メークインを使用した巨大コロッケ



STOP!! ジャガイモシストセンチュウ

～日本一のブランド「あさぶメークイン」を守ろう!～

新しい議会構成が 決まりました

議長に **鈴木 祥司氏(再)**
副議長に **加藤 古志男氏(新)**

統一選挙後の初議会となる第2回臨時会が5月8日に招集されました。
この議会では議長、副議長の選挙、各常任委員会委員の選任など、新しい議会構成が決まりました。



鈴木 祥司(鶉 町)
議 長
(58 歳) 当選 4 回



加 藤 古志男(木間内)
副 議 長
(74 歳) 当選 4 回
総務文教常任委員会

議長、副議長選挙の投票結果は次のとおりです。

○議長選挙

鈴木 祥司 6 票
高 田 一 弥 4 票

○副議長選挙

常任委員会委員等は次のとおり決まりました。

加 藤 古志男 5 票
中 山 俊 勝 4 票
山 崎 孝 1 票

□総務文教常任委員会

委員長 佐々木 宏
副委員長 下川部洋伸
委 員 加藤古志男
浜塚 久好

□産業厚生常任委員会

委員長 高田 一弥
副委員長 松村 松雄
委 員 中山 俊勝

□議会運営委員会

委員長 中山 俊勝
副委員長 只野 勲
委 員 只野 久好
佐々木 宏

□議会広報編集特別委員会

委員長 下川部洋伸
副委員長 松村 松雄
委 員 加藤古志男
只野 勲

一部事務組合議会議員

○檜山広域行政組合議会議員

浜塚 久好
松村 松雄

○江差町ほか2町学校給食組合議会議員

加藤古志男

○南部松山衛生処理組合議会議員

山崎 孝

○監査委員(議会代表)

浜塚 久好議員の選任が提案され、同意しました。

委員会



松村 松雄
(赤沼町)
(64歳) 当選2回
産業厚生常任委員会



浜塚 久好
(富栄)
(67歳) 当選2回
総務文教常任委員会



高田 一弥
(本町)
(62歳) 当選4回
産業厚生常任委員会



中山 俊勝
(鶉)
(65歳) 当選7回
産業厚生常任委員会



佐々木 宏
(稲見)
(62歳) 当選6回
総務文教常任委員会



山崎 孝
(鶉)
(67歳) 当選4回
産業厚生常任委員会



只野 勲
(館町)
(64歳) 当選2回
産業厚生常任委員会



下川部 洋伸
(新町)
(44歳) 当選2回
総務文教常任委員会

(年齢は8/1日現在です)



副町長の選任について審議し、無記名投票の結果、全会一致で松橋道雄氏が選任されました。

人事

●厚沢部町国民健康保険条例等の一部を改正する条例の専決処分承認

●厚沢部町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認

承認

歳入歳出それぞれ470万円を追加し、総額36億5570万円となりました。追加されたものは、一般コミュニティ助成事業費補助金、小規模災害復旧事業費補助金です。

一般会計

補正予算

意見書を提出しました

第2回定例会で意見書4件を原案どおり可決し、関係省庁に提出しました。(内容省略)

- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2016年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書
提出先 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、地方創生担当大臣
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)、経済産業大臣、地方創生担当大臣
- 憲法を守り、日本を海外で戦争する国にする戦争立法の廃案を求める意見書
提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、防衛大臣
- 日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書
提出先 内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣



農業生産安定化特別対策事業費補助金など 2億6380万3千円を補正

総額39億1950万3千円

平成27年第2回定例会が6月24日から25日までの2日間の会期で開かれ、補正予算、工事請負契約の締結等17件を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

補正予算

一般会計

今回は統一選挙後の最初となる定例会で、当初予算になり政策的な予算が計上されました。

歳入歳出それぞれ2億6380万3千円を追加し、総額39億1950万3千円となりました。

追加補正された主なものは次のとおりです。

●土地購入費

(1283万5千円)

公共施設建設のためのものです。

●館地域振興センター耐震診断業務委託料

(288万9千円)

●町地域再生プロジェクト推進協議会事業費補助金

(387万円)

●社会保障・税番号制度システム構築委託料(連携サーバー分)

(518万4千円)

●臨時福祉給付金

(390万円)

●高齢者等冬期生活支援事業給付費

(270万円)

●敬老福祉年金

(1706万円)

●生活排水処理施設整備事業費補助金

(2775万円)

●国保病院事業特別会計繰出金

(904万8千円)

●農業振興地域整備計画策定業務委託料

(520万円)

●小規模土地基盤整備事業費補助金

(600万円)

●農業生産安定化特別対策事業費補助金

(2000万円)

●野菜生産振興事業費補助金

(500万円)

●農道整備用砂利購入費

(524万9千円)

●農業集落排水事業特別会計
繰出金（1697万7千円）

●未来につなぐ森づくり推進
事業費補助金
（988万5千円）

●民有林除間伐推進事業費補
助金（1134万3千円）

●橋梁補修設計業務委託料
（1050万円）

●一般農道保全事業西鶴地区
負担金（1579万7千円）

●農道特別対策事業鶴西中館
地区負担金
（1753万8千円）

●各小学校校務用パソコン購
入費（739万3千円）

●各中学校校務用パソコン購
入費（568万7千円）

質疑応答 (要旨のみ)

問 種子馬鈴薯選別施設の稼
働状況について

答 予想より多く利用料収入
があり、計画通り積立をして
故障等に対応していきます。

問 沖縄戦跡慰霊巡拝参加と
戦争体験者の講演会について

答 巡拝は、戦後70年の節目
に北海道連合遺族会が主体で
行う事業で、道内40名枠のう
ち当町では5名を選出、11月
に開催されます。講演会は、
当町慰霊祭（7月30日）終了
後に開催します。

問 道南ドクターヘリ運航費
負担金の補正内容について

答 ヘリ格納庫で待機してい
る医師・看護師の旅費、格納
庫の光熱水費、インターネット
ト使用料等の各町負担割合が
利用割から均等割に変更に
なったことに伴う不足分の補
正45万8千円です。

問 厚沢部町アンテナシヨッ
プについて

答 商工会が主体となって補
助事業を利用しながら進めて
います。

問 レクの森遊具解体工事費、
及び水辺公園の遊具の改修に
ついて

答 キャンプ場奥にある遊具
で経年劣化のため腐食し、大
変危険な状態にあるため解体
します。水辺公園遊具の改修
については確認し、既定予算
の範囲内で対応します。

問 さつまいも（焼耐用）の
作付面積について

答 作付開始後3年くらいま
では作付面積は20ヘクタール
を超えるくらいまでになりま
したが、最近は5ヘクタール
程度です。

問 農業担い手育成対策協議
会運営費の補正内容について

答 新規就農者の受入体制を
整えるため、協議会委員によ
る先進地の視察研修費です。

問 農業共済の加入状況につ
いて

答 平成26年度は217戸の
加入があり加入率約81%、平
成27年度は現在のところ小麦

38戸、水稲124戸となつて
います。

問 小中学校トイレ改修工事
について

答 既定予算内で対応しま
す。

問 道路新設改良費の詳細に
ついて

答 西鶴橋に歩道橋の建設工
事、鶴西中央線の急カーブ箇
所へのガードレール設置工事
を道営事業で行うための予算
です。

問 町民グラウンドのベンチ
の取替について

答 早急に確認し対応しま
す。

（後日、新品に交換すると町
より報告がありました。）

国保会計

歳入歳出それぞれ416万
4千円を追加し、総額7億5
792万6千円となりました。
補正の内容は、社会保障・
税番号制度システム整備費委
託料（国保システム分）等
です。

一般会計補正予算の内訳

区	分	補正額	補正後の額
議	会費	1,041千円	50,231千円
総	務費	18,671千円	878,483千円
民	生費	38,893千円	767,690千円
衛	生費	40,514千円	392,783千円
農	林水産業費	93,788千円	426,851千円
商	工費	△499千円	81,697千円
土	木費	44,353千円	411,450千円
消	防費	7,441千円	248,281千円
教	育費	18,456千円	282,980千円
災	害復旧費	1,145千円	4,150千円
合	計	263,803千円	3,919,503千円 (補正後の予算総額)

後期高齢者医療会計

歳入歳出それぞれ162万円を追加し、総額6784万6千円となりました。

補正の内容は、社会保障・税番号制度システム整備費委託料（後期高齢者医療システム分）です。

介護保険会計

歳入歳出それぞれ324万円を追加し、総額5億9324万9千円となりました。

補正の内容は、社会保障・税番号制度システム整備費委託料（介護保険システム改修分）です。

簡易水道会計

歳入歳出それぞれ639万3千円を追加し、総額7903万2千円となりました。

補正の内容は、各配水池の無停電電源装置の更新工事費等です。

農業集落排水会計

歳入歳出それぞれ1697万7千円を追加し、総額1億

5920万1千円となりました。

補正の内容は、終末処理場屋上防水改修工事費です。

（厚沢部・赤沼地区）

国保病院会計

資本的収入及び支出それぞれ904万8千円を追加し、総額3679万8千円となりました。

補正の内容は、照明器具LED化工事費等です。

契約の締結

●公営住宅緑町B団地新築建築主体工事（A・B棟）請負契約の締結

●公営住宅緑町B団地新築建築主体工事（C・D棟）請負契約の締結

報告

●厚沢部町一般会計繰越明許費の繰越

平成26年度に予算措置された地域活性化・地域住民生活等緊急支援助交付金事業等の6842万5千円を平成27年度

に執行するものです。

●厚沢部町簡易水道事業特別会計事故繰越しの繰越

議員派遣

●議員研修会（道議長会主催）

目的 分権時代に対応した議会の活性化及び議員の資質向上を図る

場所 札幌市
期間 7月7日
議員 全議員

●総務文教常任委員会視察研修

目的 木質バイオマス資源を活用した取組、給食センターの運営管理について視察し、今後の行政推進の参考とする。

場所 下川町、厚真町
期間 7月22日～24日
派遣議員 佐々木宏
下川部洋伸
加藤古志男

浜塚久好
鈴木祥司

●産業厚生常任委員会視察研修

目的 認定こども園の運営、バイオマス資源を活用した環境保全センターの稼働状況等を視察し、今後の行政推進の参考とする。

場所 士幌町、鹿追町、喜茂別町
期間 7月27日～29日
派遣議員 高田一弥
松村松雄
中山俊勝
只野 勲
山崎 孝

一般質問

聞いてみたい、こんなこと

国保税引下げの見通しについて

加藤古志男議員

質問 1

引下げは大変難しい

渋田町長



加藤議員

問 町民の「国保税を下げて欲しい」という願いに応えるため、以下の質問をさせていただきます。

①国保世帯数は25年度末で何戸ですか。

②国保税一人当たりの調定額はいくらか。この額は他町村に比べて高い方か、低い方が教えてください。

③国保財政調整基金は、平成26年5月末でいくらありますか。

④国の国保支援金1700億円が予算化されています。国保税軽減分繰入額と保険者支援分繰入額の交付額はいくらか。

⑤国保の基金を使ったり、国の支援制度も使って国保税の値下げが可能になると思いますが、町長の考えを伺います。

答 ①平成25年度末の国民健康保険の加入世帯数は749世帯です。
②国保税一人当たりの調定額は9万6979円です。道内の最高額は猿払村の16万1258円、最低額は三笠市の6万2299円で厚沢部町は157団体の中で高い方から数えて87番目です。
③平成26年度末の当町の調整基金は1781万円です。
④保険料軽減分及び保険者支援分ともに、算定及び交付申請は10月に行われるため、今現在では交付額は確定していません。
⑤現在も国の支援制度のほか、必要に応じて基金を投入し、国保税の上昇を抑えてきましたが、入院や高度の治療による医療費の増加に伴い、その運営状況は厳しい状況です。国保税を現在の額より下げることは大変難しい状況です。

質問2 江差高校に通う 通学バス定期代 支援について

問 バス定期代は、高い子どもで月2万7520円になっています。家庭にとって大きな負担であり、定期代の支援について町長の考えを伺います。

①現在、当町から江差高校に通っている生徒数は何人ですか。

②通学に係るバス定期代の高い子どもと安い子どもとの差はいくらですか。

③少子化でバス定期代を支援しても多額の予算にはならないと思いますが、支援についていかがでしょうか。

公平性が保てない

答 ①厚沢部中学校から42名、鶴中学校から7名、館中学校から10名の合計59名です。

②定期券購入者の1カ月分代金で比較しますと、最も高いのは上木間内バス停から乗車すると2万8260円、最も安いのは新町バス停からの1万2840円で差額は1万5420円となっています。

③通学の実態をみると、通学している59名の内、実際にバス通学している生徒は6名、部活動などの事情から自家用車で送り迎えをする生徒が大半です。江差高校への通学生徒にのみ助成することは他管内の高校に通学する当町出身

者との公平性が保てないとの見地から助成については考えていません。

質問3 ゆいまゝる厚沢部の月額利用料の値上げについて

問 平成27年4月から入居料が月額1万2720円値上げになりました。当町のゆいまゝるへの1億円支援関連で質問します。

①1億円の支援の内容は入居料全体に対してではなく、家賃だけのものだったのですか。
②1億円の使途について町に説明はありましたか。
③1人1カ月4万円の補助で

運営上止むを得ない

は10年とちよつとで1億円が無くなります。また新たに支援をするのですか。
④入居料の値上げによって高齢者にどのような影響が出ると考えますか。

答 ①入居料の内訳は家賃、管理費、食費、光熱水費ですが、支援により家賃6万円の予定が2万円に引き下げられました。

②株式会社コミュニティネットとの協議の中で家賃を4万円引き下げる要因の1つになったものと理解しています。

③株式会社コミュニティネットと町との合意書において「入居契約の家賃相当額を理由なくして変更しないこと。ただし、特別な事由が生じた場合に限り、事前に町と協議のうえ変更することができ」とされています。

④値上げは消費税の増額分と介護の質の維持が目的であり、説明も十分されていることから運営上止むを得ないものと考えています。



ゆいまゝる厚沢部

質問 1

館城跡整備計画について

只野 勲 議員

復元は大変困難

洪田町長



只野議員

問 ①今後の整備計画をどのように考えていますか。

②建築の専門家に助言を求めることはできますか。

③城跡の平面図が実在した場合、館城の復元は可能でしょうか。

答 ①平成26年度に策定した保存整備基本計画に基づき、これまでの調査で明らかにされた外郭線の整備を中心に行っていきます。

②基本計画に基づいた基本設計及び実施設計という段階の中で専門業者に依頼することになります。

③文化庁の基本的な整備方針

では写真、発掘遺構、設計図の3点が整った場合には復元を考慮するとの方針ですが、現在、館城に関しては3点すべては発見されていない状況です。堀、土塁、柵については復元が可能であります、館城の復元は大変困難であると考えます。

質問 2

空き家・廃屋の実態と対策について

問 ①空き家所有者の特定をしていますか。

②空き家バンク制度についてどのように考えますか。

③特定空き家は何件あります



館城跡

か。

④代執行の撤去費用はどのようにお考えですか。

⑤空き家対策条例の制定は必要だと考えますか。

⑥空き家対策を担う担当課の新設が必要だと考えますか。

空き家対策条例の制定に向けて検討

答 ①空き家144件のうち86件の所有者が判明しています。残りの58件は家屋台帳情報がなく不明です。

②空き家を提供したい所有者と利用したい希望者が町に情報登録し、双方に情報提供する制度ですが、道が検討中であり、動向をみたいと考えています。

③特定空き家と判断した空き家はありますが、建て直しが必要と思われる空き家は25件と見込んでいます。

④費用は義務者から徴収することも検討しますが、建物内部の動産の保管等の難しい問題もあります。

⑤道内179市町村のうち38市町村が制定しています。今後条例制定に向けて、その必

要性を含め検討していきます。

⑥担当課の新設はできませんが、現在、建設水道課に担当者を配置し、調査を進めています。

まちの議会を傍聴してみませんか

町政はあなたのために

次の定例会は9月2日（水）からです。

《一般質問開始予定：2日午前10時20分頃～》

手続きは、議会事務局備え付けの傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。

地方創生への対応と戦略は

佐々木 宏 議員

理想的なメニューをもちながら生活、生産の二つのエリアを合体させた町づくりを進める

浜田 町 長



佐々木議員

問 ①地方創生に対する基本的姿勢と期待は。

- ② 総合戦略策定計画のスケジュールは。
- ③ 計画に組み入れようとしている事業は。
- ④ 町民からの声の聴取方法は。
- ⑤ 本町の今後5年ごとの人口ビジョンの目標設定は。
- ⑥ 安定した雇用を創出する方策は。
- ⑦ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現はどう図るのか。
- ⑧ 地域資源を活用した新しい産業を生み出す考えは。

答 ①町民一人ひとりが希望を持ち、豊かな生活を安心して営むことができる厚沢部町を形成するため、地方創生をチャンスと捉え、素敵な過疎の町づくりに積極的に取り組みます。

②検討委員会を数回開催、町民を対象とした講演会も2回程予定しております。12月未だには総合戦略を策定します。

③安定した雇用の創出、新しい人の流れ、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する。

これら4つを基本目標とし、具体的な施策は総合戦略検討委員会の中で検討していきます。

④全世帯を対象としたアンケートを実施、若者を中心と

したワークシヨップの開催等を計画しています。
⑤出生率をいくらに設定するか、転入・転出等の社会的要因をどうとらえるか、今後、委員会で検討し設定します。

- ⑥ 農林業とそれをベースにした産業の育成、政府機関の移転誘致等にも取り組んでいきたいと考えています。
- ⑦ 認定子ども園の整備や保育料の上乗せ助成等さらなる支援を講じていきたいと考えています。
- ⑧ 熱エネルギーの調査・研究、鵜ダムを利用した水力発電の可能性も検討し、冬期間の農業等への有効活用や住民サービスの向上につなげていきたいと考えています。



7月30日
臨時会

第3回臨時会が7月30日招集され、補正予算ほか1件を審議し、原案どおり可決されました。

**27年度
補正予算**

一般会計

歳入歳出それぞれ6324万9千円を追加し、総額39億8275万2千円となりました。

主な内容は、(仮称)南館町・城丘ふれあいセンター新築工事費等です。

財産の取得

●各小中学校校務用パソコンの取得

- ・数量 69台(小学校39台、中学校30台)
- ・契約の方法 随意契約
- ・取得価格 1188万円
- ・契約の相手方

株式会社 栄電社

町議会に設置されている総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会では、今年度の所管事務調査の内容を次のとおり決定し、7月から調査を開始しています。

委員会活動

委員会活動状況

月日	委員会名	出席委員数	活動内容
5	8 総務文教常任委員会	4名	正副委員長の互選について
	8 産業厚生常任委員会	5名	正副委員長の互選について
	8 議会広報編集特別委員会	4名	正副委員長の互選について
	8 議会運営委員会	4名	正副委員長の互選について
6	1 総務文教常任委員会	4名	所管事務調査について
	5 産業厚生常任委員会	5名	所管事務調査について
	22 議会運営委員会	4名	第2回定例会について
	25 総務文教常任委員会	4名	所管事務調査について
	25 産業厚生常任委員会	5名	所管事務調査について
7	13 議会広報編集特別委員会	4名	広報No.85号の編集について
	14 総務文教常任委員会	4名	第1回所管事務調査
	21 議会広報編集特別委員会	4名	広報No.85号の編集について
	30 議会運営委員会	4名	第3回臨時会について
8	18 議会広報編集特別委員会	4名	広報No.85号の編集について
	27 産業厚生常任委員会	5名	第1回所管事務調査

議会広報編集特別委員会
委員長 下川部洋伸
副委員長 松村 松雄
委員 加藤古志男
委員 只野 勲

は残念ながらありません。このようなことから教育格差を無くすためにも行政が先頭になり、今年度から始まる地方創生を活用しながら早急に対策をしなければなりません。

(し)

- ・給食センター建設に向けた取組みについて
- ・町有林（焼木尻、南館町）の管理について
- ・学校における教育機器の活用状況について
- ・中学校統合に向けた取組みについて
- ・旧檜山営林署跡地の現状と今後の活用について



7月14日実施 総務文教常任委員会所管事務調査

○総務文教常任委員会

・指定管理者制度導入施設の現状について

○産業厚生常任委員会

- ・農林商工業における後継者問題について
- ・地域おこし協力隊の現状と今後について
- ・婚活支援事業について
- ・国保病院の経営改善について
- ・新幹線開業に向けた取組について

編集後記

過疎地域では少子高齢化に歯止めがきかない状況になっており、当町でも大変深刻な問題で今後は早急に対策をしていかなければなりません。

近年では都市部との地域格差や教育格差が生じており、学習面では、都市部ほど民間の学習塾は数多く、過疎地域では1件もない地域が数多くあります。当町も民間学習塾